

第24回秋田県特別支援学校総合体育大会 「ネオホッケー競技」実施要項

- 1 日 時 令和7年9月12日(金) 10:30～14:30
2 会 場 秋田県立体育館
3 監督会議 10:10【体育館内本部テーブル付近】
4 競技規則 日本フロアボール連盟「ネオホッケー競技ルール」及び秋田県特別支援学校総合体育大会申し送り事項による。

5 競技方法

(1) 競技形式

- ・トーナメント方式で行う。
- ・昨年度優勝校・準優勝校はシードとし、違うブロックに入ることとする。
- ・3位決定戦は行わず、1回戦敗退チームによる交流戦を実施する。

(2) チーム編成

- ・試合は6人対6人で行う。
- ・競技は、中・高等部の部とする。
- ・高等部生に代えて中学部生徒が参加できるものとする。
- ・エントリーは、1校1チームとする。
- ・ゲーム中には、5名以上のプレイヤーがいればよいものとする。4名以下になった場合、その時点で競技を終了する（4名でも交流戦への出場は認めるものとする）

(3) 競技時間

- ・前後半7分、ハーフタイム2分で競技を行う。
- ・交流戦は前後半5分、ハーフタイム1分で競技を行う。
- ・同点の場合は、ペナルティストローク戦を行う。(先に1点差がついた段階で勝利とする)
- ・ゲーム中のタイムアウトは、前後半1回ずつ認める。1回の時間を30秒とする。

(4) 用具

- ・スティック、ボールについては、事務局で準備した物を使用する。
(スティックはプラスチック製で黒、白の2色、ボールは白色)

(5) ゲームの流れ

- ・代表選手によるフェイスオフを行い、競技を開始する。代表選手以外は、ボールより3m以上離れる。フェイスオフを行った選手は、他の選手がボールに触れるまでは、再びボールに触れてはならない。
- ・ゴール後、後半開始時もフェイスオフを行う。
- ・前後半でチェンジコートを行う。
- ・自由な交代とし、交代して退いた競技者も交代要員として再度出場できる。
- ・ゴールエリア内に入ることはいできない。
(対処：ステップ・イン・ディフェンス及びステップ・イン・オフense)

6 その他

- ・試合は6人対6人で行うため参加申込時に各校6名以上の選手名を記載して申し込む。
- ・ユニフォーム(ゼッケン等)は、各チームで用意すること。
- ・4名の外部審判を依頼する。
- ・ペナルティストロークの場合や、審判が必要を認めた場合以外はタイマーを止めない。
- ・報道等配慮が必要な選手には、腕に赤テープを貼り付けること。
(テープは各校で用意する)
- ・ゲームについての詳細は、**別紙**を参照のこと